

# 識者に聞く

# 「農協改革」とJA



滋賀県立大学教授  
増田 佳昭 さん

安倍首相は日本の成長戦略の柱として「農協改革」の断行を強調し、国会でも大きく取り上げられていますが、「改革のための改革」と揶揄されるように、JA全中の機能や、地域の農業と暮らし、インフラを支える農協の役割を破壊しようとする「農協改革」によって、本当に「農家所得の増大」が達成されるのでしょうか。現場の声を無視するかのごとく進む「農協改革」の本質について、農業協同組合論の第一人者である滋賀県立大学・増田佳昭教授にお話を伺いました。

## 今回の農協改革の内容はどのようなものですか。

増田 いろいろな論点がありましたが、次のような点がポイントです。全国農協中央会(JA全中)は「一般社団法人」となっており、農協法上の位置づけを失うこととなります。ただし、中央会の名称は引き続き利用されます。また、都道府県中央会は、農協法上の「連合会」の位置づけに移行します。

これまでJAに対する監査は中央会(全国監査機構)が行ってききましたが、これからは貯金高2000億円以上のJAに公認会計士の監査が義務づけられます。ただし、全国監査機構を監査法人に組織替えし、JAは一般の監査法人による監査と全国監査機構による監査

とを選択することができず。

また、准組合員の利用規制(当初は「正組合員の2分の1以下」との案も)は、導入が見送られ、利用実態等の調査を5年間行った上で判断するとされました。

## 農協改革で、JAの運営や組合員農家に影響がありますか？

増田 政府は「農家の所得増大」や「農村の所得倍増」のために農協改革をしようと言ってきましたが、今回の改革はJAの経営や農家の生活には何ら関係がないでしょう。

それよりも、農協の組織が弱まる方向での改革なので、デメリットが現れてくるのではないかと心配しています。



とんだ支所はサツマイモ作り体験で地域の皆様に農業とのふれあいの場を提供 (昨年5月)

## それでは、政府はなぜ農協改革を行なったのですか。

増田 最大の理由は、政府が推進しようとしているTPP(環太平洋経済連携協定)に対して、JAグループが強く反対してきたからです。その運動のトツプにあるJA全中

こんなことが通れば、農家の所得が増えるどころか減ることが目に見えています。農協改革はこうした動きを国民の目から隠す「目くらまし」といっても言い過ぎではありません。さらに、今

を与えることが最大の動機だったと思います。もう一つは、政府が進めるアベノミクスの実績づくりです。アベノミクス「第3の矢」の「成長戦略」は、まだめぼしい成果を上げていません。とりあえず「農協改革」で何かやったという実績づくりをしたかったというわけですね。

## 農協改革にはどのような問題がありますか。

増田 農協改革を実施したからといって日本の農業が元気になるのか、農家の所得が増えるというところは全くありません。

日本の農業がうまくいかない原因を農協に押しつけるのは、全く的外れで、本来は「政策の責任」です。それどころか、農協改革の最終盤の2月には、TPPの日米交渉の中で、米国のコメをさらに5万ト



地域に溶け込んで…田辺支所の職員らが弁慶ゲタ踊りに参加 (昨年10月)

## 地方創生と農協改革との関係はどう考えますか。

増田 現在、地域の再生、地域の活性化は現場の大きな課題です。そのために、地域の人々も行政も農協も力を合わせて努力しなければなりません。

ところが、農水省は、農協は農業が目的だから「農業以外のことはやらなくてもいい」とばかりに、信用共済事業を農協から分離したり、准組合員の利用を制限しようとしています。JAにとって組合員の農業経営と地域農業のためにしていることはもちろんですが、金融や生活購買、福祉や文化など、地域社会の存立のために果たしている役割はとても大事です。そのような役割をより発揮しやすくする方向での制度改革が期待されているのですが、今回の農協改革はそれに逆行するものです。

## 日本の農業の状況をどう考えますか。

増田 農協を批判する人たちは、日本の農業は「高齢化」「担い手不足」「耕作放棄地」で出口のない危機的状況だといっています。

そう言ったのは、農業が過保護にされてきたから、あるいはJAが意欲ある農業者を邪魔してきたから、だといっています。だから、いつそのことTPPに入ると、競争を導入したら日本農業が活性化するとまでいいいます。

本当にそうでしょうか。実は、日本の農業は出口のない危機ではなくて、世代交代期です。日本の農業就業人口の中で、昭和一桁世代が最も数が多かったのです。昭和一桁世代は、敗戦前後に青年期を迎えて農村にとどまらずに農業に従事した世代です。その人たちが戦後の日本農業と農協を支えたのですが、その世代がリタイアの時期を迎えています。

その後は、若手の跡継ぎや新規就農者、さらには中途退職や定年退職の農業者が農業に参入しています。高齢者のリタイアと次世代の参入が同時に進んでいるのが今日です。大事なことは、次世代の参入を後押しすることです。農業政策も、JAも、次の世代の担い手をどう作るか、彼らの農業経営をどう応援するかを最大のテーマにするべきです。

JAグループの温泉利用型健康増進施設

## クアハウス白浜で健康づくり

専任のトレーナーが健康づくりのお手伝い!

プールでの水中運動は、腰痛・筋肉疲労・肩こり・関節の痛み・老化予防・肥満・ストレス解消・美容に効果的!

健康教室実施中!

温泉プールの周りには、サウナ、気泡浴、打たせ湯、寢湯などの様々な温泉浴槽があり、疲れた体を癒してくれます。

営業時間 AM10:00~PM10:00  
\*最終入館受付PM8:30 休館日・短縮営業日あり

お問い合わせ 癒しの宿 南紀白浜温泉 〒649-2211 白浜町3102  
クアハウス白浜 ☎0739-42-4175  
http://kurhouse-shirahama.or.jp

JA紀南の組合員メンバーズカード **kumica**

## クミカ会員募集中!

加入特典 Aコープご利用クーポン券進呈 (1カ月100ポイント×10カ月) **年間で1000pt**

Aコープ、紀菜柑、貯金、ローン、ガソリンスタンド等JAのご利用でポイントが貯まるお得な組合員カードです。詳しくはJA紀南各支所、Aコープでお尋ねください。

配布エリアを拡大しました

Aコープ紀南 ネットスーパー 会員募集中

旧田辺市、中辺路町、旧大塔村全域、白浜町、上富田町、すさみ町全域

年会費 無料  
登録料 無

↑スマホ画面へ

Kinan 4月号  
JA月刊広報誌

Aコープにご用意しています。この自由にお持ち帰りください。